

H29の工事について

中池の管理用通路の工事について

1. 中池の管理用通路の工事について（前回報告事項）

- 中池の国有地の管理用通路の工事を平成29年の9月から平成30年の1月に行います。（看板の整備は、平成29年度に内容を検討した結果を受けて、平成30年度に整備を予定します。）
- 中池の管理用通路は、現地の測量の結果を受けて、車両の通行ができる3mの幅、水際にアクセスできるルート設定、車椅子が通行できる5%以下の勾配および温度上昇の少ないウッドクリート舗装とします。

通路の整備によって発生
する残土を、土砂の仮
置場に搬出する。
※モトD掘削時にも仮
置き済み

ウッドクリート舗装

- 幅員3m（車両通行可）
- 車椅子に配慮し、勾配5%以下で滑りにくい材質
- 保湿性に優れ日中の温度上昇が低い
- 周遊路延長約700m
- 短絡路延長約150m

水際のアクセス路への
転落防止柵の設置

幅員3m確保するためには現通
路を拡幅すると18本の伐採が必要
となるため、現通路よりも堤
内側の竹林内を通すこととしま
した。（次頁以降参照）



出典：NETIS HP

残土の搬出ルート

車止め

1. 中池の管理用通路の工事について（前回報告事項）

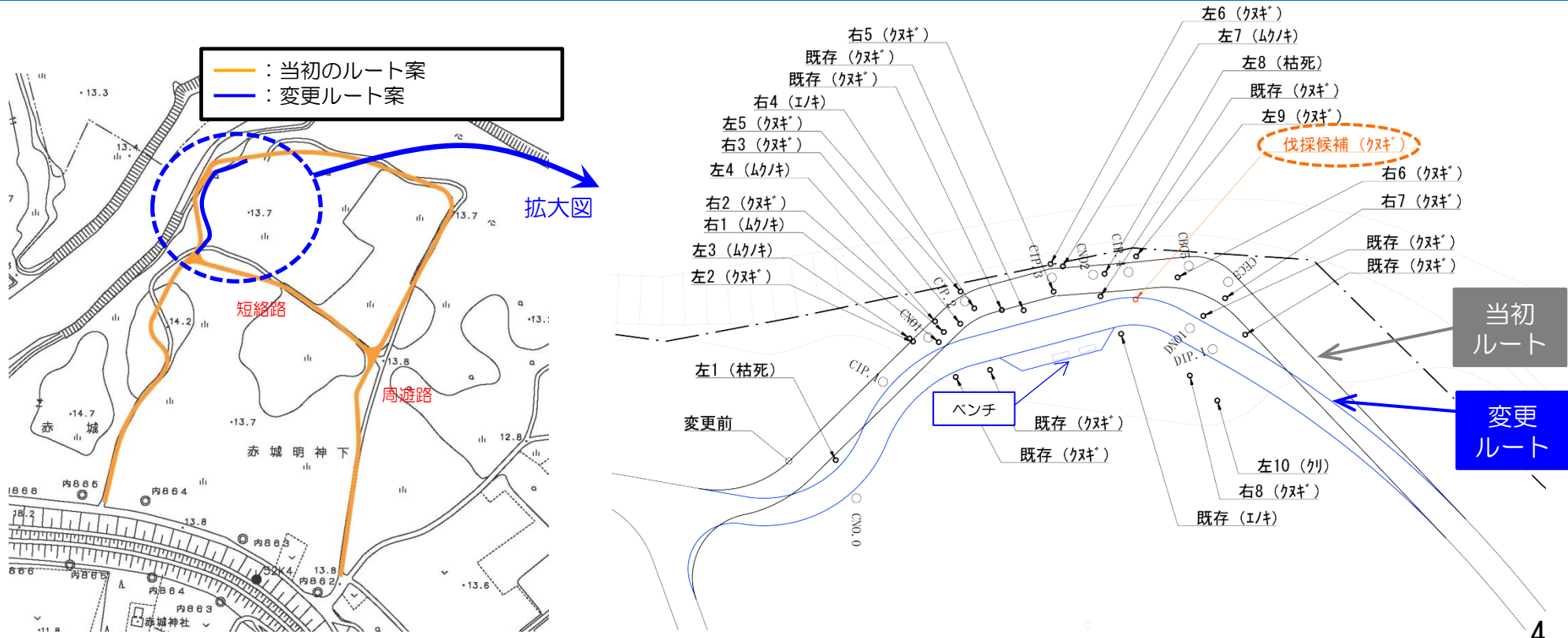
当初のルート案（下右図の黒線）

- 道路中心から両側1.5m以内（幅員3m）には枯死木含め合計18本の樹木が存在していました。
内訳：クヌギ10本、ムクノキ4本、クリ1本、エノキ1本、枯死2本
- 樹木の直径は10～40cmでした。



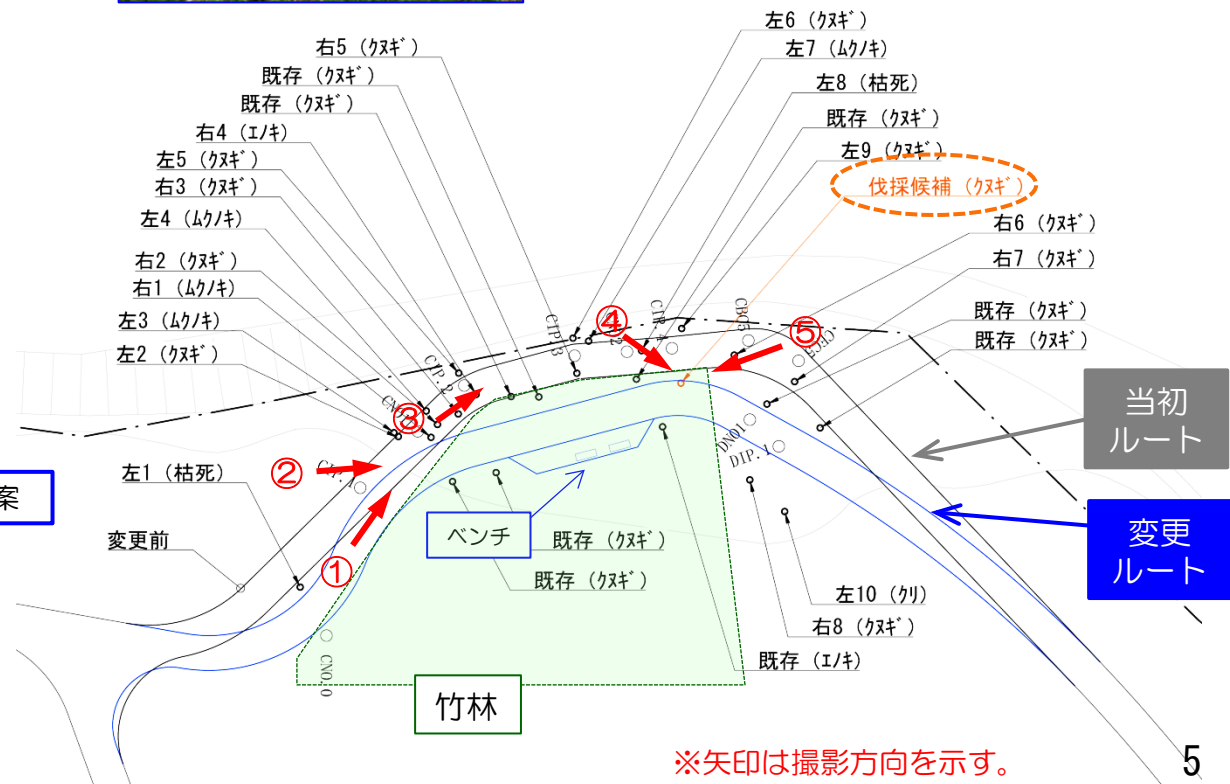
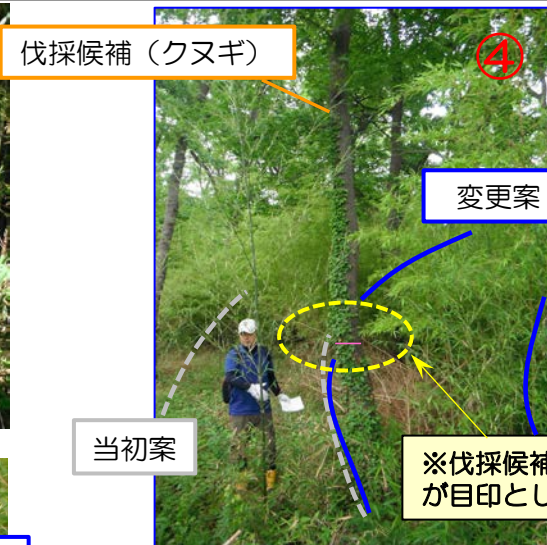
変更ルート案（下右図の青色線）

- 竹林内を通すことで、可能な限り伐採する予定の樹木を減らしました（クヌギ1本を伐採候補）。
- 当初案より水際部と通路との距離は長くなりましたが、下草を刈り見通しを良くすることで水面を見ることができます。



1. 中池の管理用通路の工事について（前回報告事項）

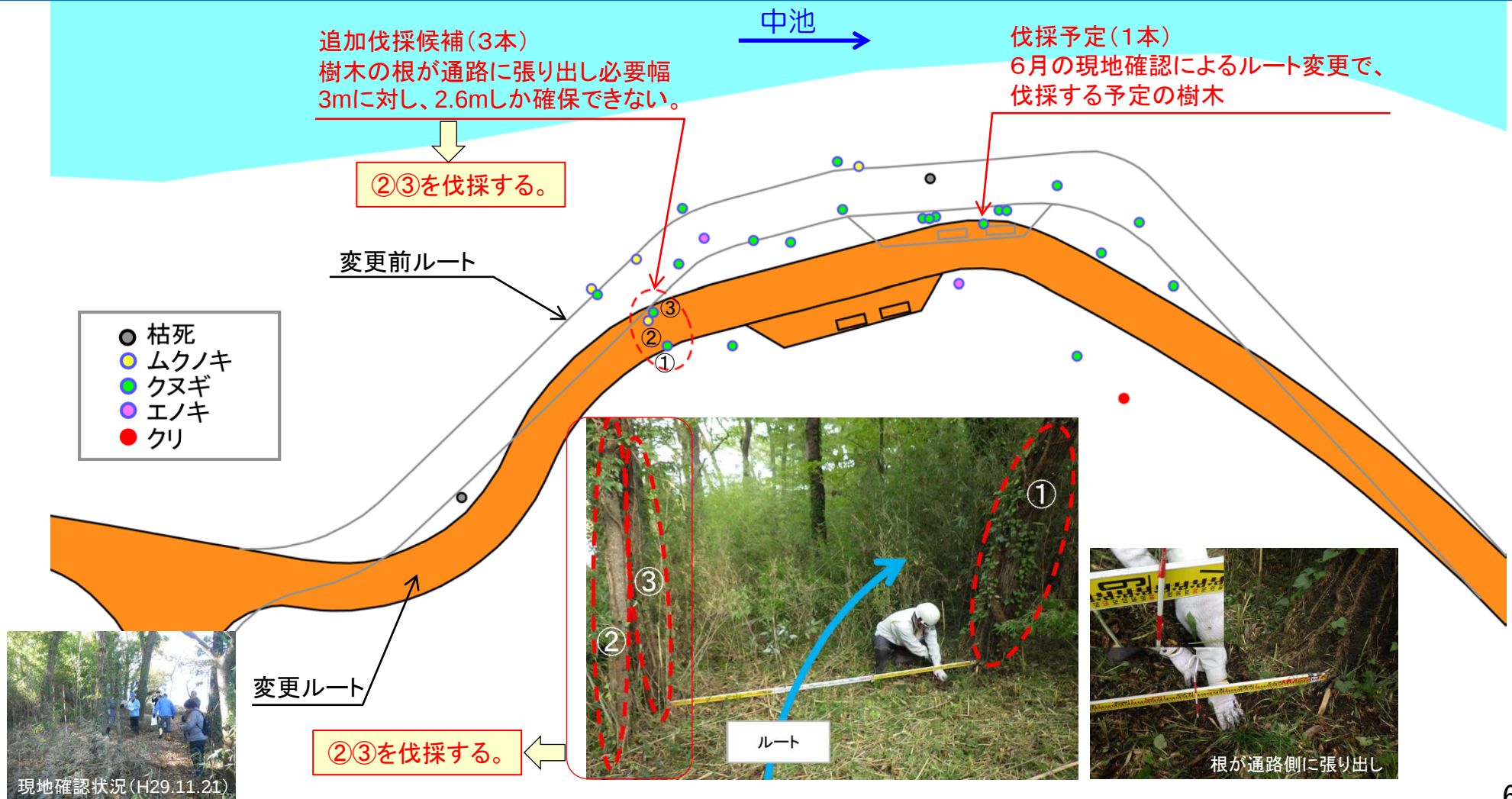
現地状況



※矢印は撮影方向を示す。

2. 中池の管理用通路の工事について

- 工事に際し、中池の管理用通路のタケの伐採を行い、ルートの確認を行ったところ、樹木の根が通路側に張り出しており、3m幅を確保できない場所があることがわかり、再度、11月21日に現地確認を行いました。
- 伐採候補の「クヌギ①」と「ムクノキ②・クヌギ③」の確認を行った結果、ムクノキ②は樹勢が弱く、クヌギ①とクヌギ③は樹勢に大きな違いが無いため、管理用通路の線形や旧流路（水面）の見やすさを考慮し、「ムクノキ②・クヌギ③」を伐採することとしました。



下池河畔林整備の工事の運搬路について

【H29年度工事】下池掘削工事・工事用道路（H29.9現在）

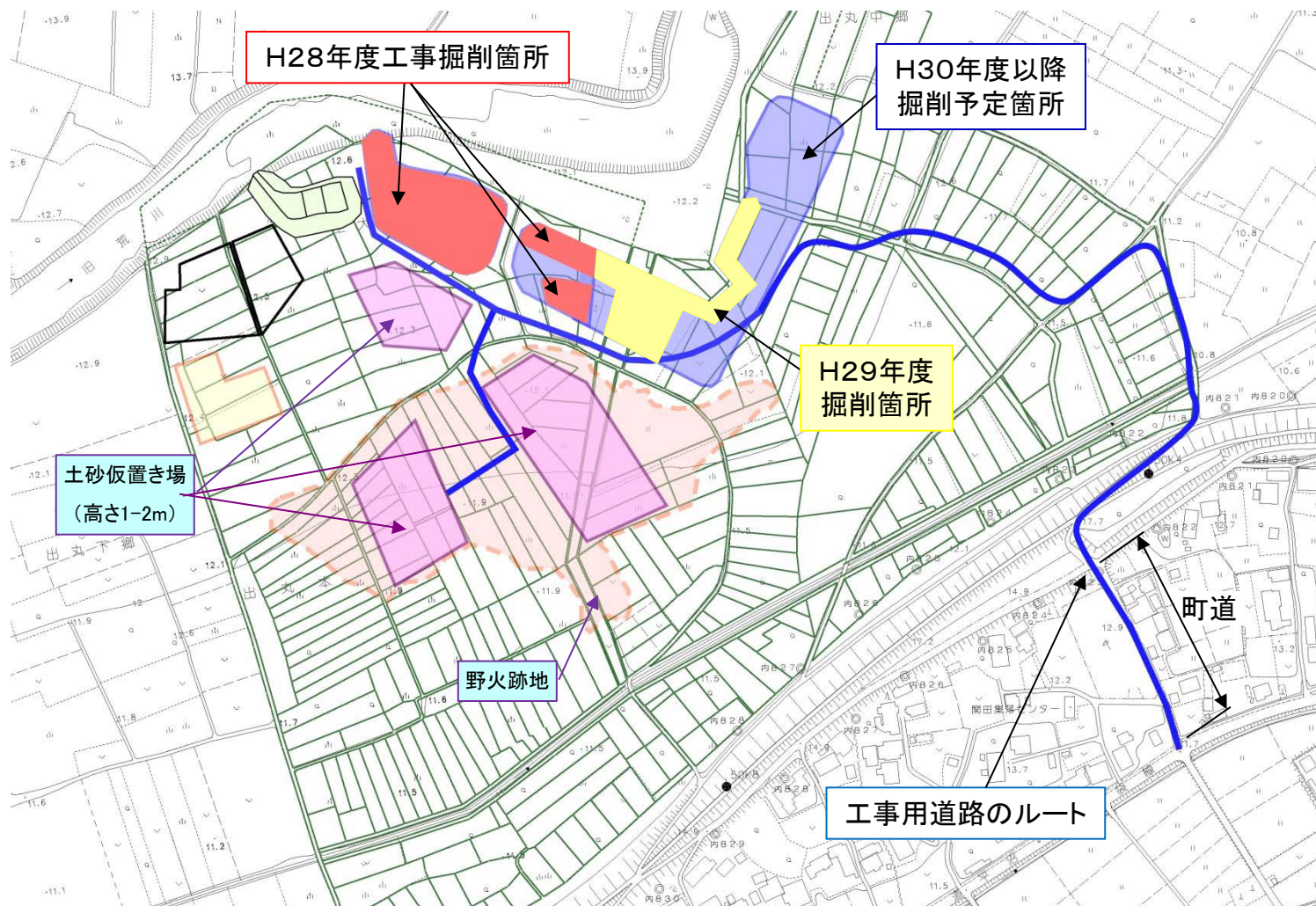
- 第25回維持管理・環境管理専門委員会（平成29年8月29日開催）において、工事用道路に隣接する民家への影響を軽減するため、工事用車両の通行を一方通行とする工事用道路（案）を提案。

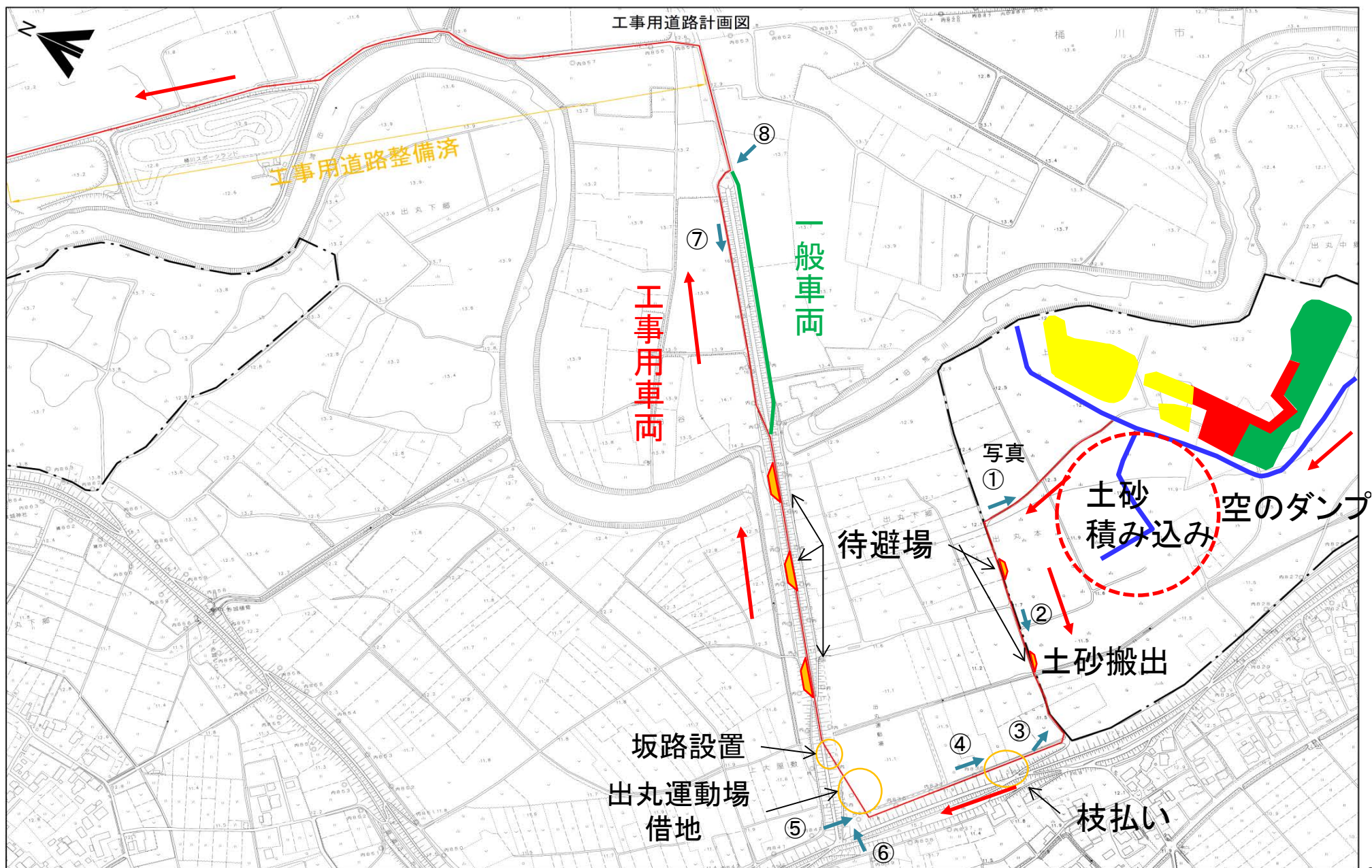
①町道 → ②H28年度整備の工事用道路 → 【③施工現場】 → ④出丸運動場・横堤・ホンダエアポート脇 → ⑤太郎右衛門橋

- その後、地元住民の方と調整した結果、民家に隣接する町道を進入路および搬出路として使用することについて了承を得た。

- H29年度工事では、以下の工事用道路（案）を使用し下池掘削工事を進めていきたい。

①町道 → ②H28年度整備の工事用道路 → 【③施工現場】 → ④H28年度整備の工事用道路 → ⑤町道





H29の工事に関する協議会への報告事項

- ①H29年度の下池の掘削工事、中池の管理用通路の工事については事務局案で進める。
- ②中池の管理用通路の工事の際、管理用通路の路肩付近に生えているタケの伐採も行う。
- ③追加の伐採が必要となった樹木については、通路の線形や旧流路景観の見やすさを踏まえ、旧流路側の2本を伐採する。
- ④中池の管理用通路は、完成後すぐに利用される方がいるので、整備の目的や利用に関するマナー等、最低限の情報を周知する。